

かぐや姫の里、京田辺

『つつきはっけん講座&ウォーク』
第5回 H26.12.12



物語の構成

1. **起** 竹中生誕 **説話**
2. **承** 急成長 化生（月の靈力の化身）
3. 竹取翁 致富長者
4. **転** 貴公子 求婚難題
5. 帝 求婚
6. **結** 羽衣昇天
7. 不死の山と煙 地名起源

登場人物

登場	モデル	説明	実在名
かぐや姫	迦具夜比売命	垂仁天皇の後	
竹取の翁	大筒木垂根王	九代開化天皇の孫	
姫 (おむな)			
求婚する 貴公子	石作皇子	仏の御石の鉢	丹治比真人嶋
	車持皇子	蓬菜の玉の枝	藤原不比等
	右大臣阿倍御主人	火鼠の皮衣	阿倍御主人
	大納言大伴御行	龍の頸の玉	大伴御行
	中納言石上麻呂足	燕の子安貝	石上麻呂
帝	嵯峨天皇		

阿倍御主人・・・あべのみむらじ、大伴御行・・・おおとものみゆき
石上麻呂足・・・いそのかみまろたり

竹取物語の基本構造

月の都→清浄無垢の世界
もの思いをしない、
年老わない、美貌

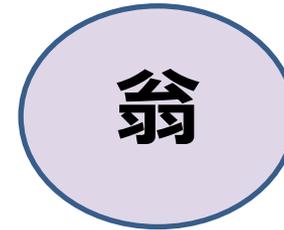


犯罪者

かた時(1日か10日)

10年間

- ・竹の中から降誕
- ・三か月で十三歳に急成長
- ・翁が長者に
- ・求婚者が殺到
- ・求婚難題物語
- ・帝の求婚と断念
- ・帝との三年間の交友で、より人間として完成
- ・**思いやりの心**
- ・二十余歳で昇天
- ・翁七十余歳



功德者

善行をした

地上

姫が罪を贖う所

地上世界→穢き所

物語の主題、主張

■ 物語の書かれた時期

平安時代の前期（9世紀初め）

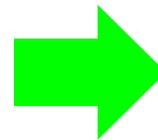
藤原律令政権時代

■ 反体制を訴える本

平安王朝上流貴族たちの俗悪腐敗実態の風刺

- 実在した権力者（壬申の乱、貴公子モデル）を徹底してこき下ろす
- 反天武・持統政権派

痛快さ、面白さ、
奇想天外



物語、小説
らしさ

物語の主題、主張

- **かぐや姫の不思議な力・生き方**
当時、活躍する貴族の最大の関心ごとは、
帝に認めてもらうこと
 - **かぐや姫を、当時の社会常識から離脱、
自由な存在 と描く**

月（天上世界）で罪を犯し、償うために
地上に降り立つ

- **不老長寿、悩みのない世界よりも
『感情のある地上』の良さ を知る**

羽衣による変身

かぐや姫の罪と罰

■ 月で罪を犯し、償うために地上に降り立つ

共同体の秩序を破る**罪**、月での『**穢れ**』を
罰、地上で『**祓え**』

月・・・清い、美しい、不老長寿、悩みがない、・・・
地上・・・穢い、悩み、感情あり、・・・

● かぐや姫が月へ帰るためには、地上の男性からの
求婚を断ることが必要

● 罪を償うために、『罰として求婚を断ることを強いられた』

『男女の恋愛に関する問題』
→ 『禁断の恋』、不倫

平安時代の律令では五刑

- ・死刑(しざい・死刑)
- ・流刑(るざい・島流し)
- ・徒刑(ずざい・強制労働)
- ・杖刑(じょうざい・つえ打ち)
- ・笞刑(ちざい・むち打ち)

物語としての面白み

- 竹の神秘（靈力）・・・祭祀・地鎮祭・厄払い
 - ・ 神の降臨する神聖な植物、天上と地上を結ぶ竹
 - ・ 竹筒「うつろ」な空間に精霊・神が籠る
 - ・ 驚異的な成長、80～120 cm/日、3カ月で成体
 - ・ 剛ならず、柔ならず、草でも木でもない
 - ・ 真竹（加工し易い）
 - ・ 竹取は特殊集団
 - ・ 東南アジア、南洋諸島 → 九州南部 → 隼人
畿内に連れてこられ竹民俗・伝承が受け継がれる

竹取物語の魅力

カテゴリー	解説	具体説明
日本最初の物語、小説	物語、小説のお手本、日本人の好み	伊勢物語、源氏物語・・・
学ぶべきものが多い	言葉の使い方、二重敬語、	はじをすてる、かいなし、たまさか
読者層の範囲	老若男女	幼児、若者、高齢者、男女
ふしぎな多くの謎	謎解きの面白さ 多くの情報統合	作者 神仙思想
同じ話が世界にあるのは？	豊富・共通 世界観の共通化	中国、インドネシア、日本、
モデルは、京田辺	他にない、幾つかの裏付け事項	竹、山本、さかき、旧館地は三山木

かぐや姫の里は、京田辺

(竹取物語の舞台が京田辺であることを表すものを整理)

登場人物

かぐや姫 ⇒ 迦具夜比賣命
翁 ⇒ 大筒木垂根王

P Noは、『竹取物語 現代考』小泉芳孝 著
大筒木出版 発行 の頁

古事記上巻 P39～42

大筒木垂根王(第9代開化天皇の孫)
娘 迦具夜比賣命(第11代垂仁天皇の後)
祖母 竹野比賣

筒木 : 筒の木 = 竹、筒城、綴喜

居館 : 大筒城佐賀冠者殿旧館地
古図 (近鉄三山木駅の南) P84～85

契沖(江戸国学者)が関連を指摘 P41

《36帝の御狩り行幸》

P240～242

・造麻呂が家は山もと近くなり…奈良時代の古山陽の山本が有力

近くに、月の名所の鶴澤の池があり、
鶴が舞い降りていた羽衣伝説地

・御狩りの場所

…枚方市の交野が原は丘陵地、

鳥獣が多く棲息

京から近く貴族の狩場として名高

場所

翁の家は、
京田辺市三山木山本

関連性が高いこと

■ 竹に通じる場所が多い山城国『綴喜』

・竹藪あり、竹林が多い

・月神を祭る神社『月読、神南備神社』

・竹文化『大住隼人』

■ 三室戸…>御室…神の降臨する山『甘南備山』

■ かぐや姫…>かぐ…火の神を主神の『朱智神社』

■ 火の神…>迦爾米雷命の父は、山代之大筒木真若王

■ 山代…>山城、筒木…>筒城・綴喜

■ 山崎神社…>壬申の乱、大友皇子を祀る

■ 鶴澤の池…>天女昇天伝説

■ 飯岡トヅカ古墳…>神仙思想:銅鏡「神人車馬画像鏡」

■ 王居谷古墳(おうじたに)…>大筒木垂根王の墓

■ 日本最初外国蚕飼育旧跡…>多々羅、天女の絹織物

『かぐや姫の里、京田辺』ウォーキング

- 出発 社会福祉センター 13時～15時 (5～6km)
飯岡古墳群～咋岡神社～トヅカ古墳～大神宮跡～鶴沢の池～山本驛～山崎神社～帰り(最寄、三山木駅)

訪れる場所	説明、注目点、関連事項
山崎神社	祭神は大友皇子。求婚の貴公子は壬申の乱の功労者。権力者への風刺
山本驛・集落	竹取翁の家、平城京から第1番目の官道、山陽道(～太宰府)の駅
鶴沢の池	かぐや姫が天に舞い上がっていったところ(現在は公園)、鶴が飛立つ池
大神宮跡	佐牙神社(翁はさかきのみやつこ、酒作りに関係)が元あったところ
トヅカ古墳	神仙思想を物語る『神人車馬画像銅鏡』が発掘されたところ
飯岡古墳群	飯岡車塚古墳、ゴロゴロ山古墳、薬師山古墳、トヅカ古墳、阿陀山古墳
咋岡神社	延喜式内社、祭神:菅原道真、巨木、スダジイ、万葉歌碑(柿本人麻呂)
その他	翁のモデルの旧館地、竹取翁博物館、七井戸





社会福祉センター

ウォーキング
ルート

トヅカ古墳

1

飯岡古墳群

2

鶴沢の池

大神宮跡

3

山本驛

竹取翁博物館

4

山崎神社

新宮社

5

筒城宮伝承地

酒屋神社

田辺公園

田辺西IC

普賢寺谷

近衛基通公御廟

向大多々羅キャンパス

若冲屋敷跡

日本最初外国蚕飼育旧跡